

音楽鑑賞あれこれ



札幌市医師会
社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院

山本 和香子

音楽鑑賞や楽器演奏を楽しむ先生方は多くいらっしゃるかと存じます。

子どもの頃はピアノを習っておりました。レコード・カセットテープで練習中の曲を中心に聴いていたと思います。たまにコンサートに連れて行かれましたが、その良さは分からずに寝ていました。

小中高校の間は音楽の授業があったり、学校祭でコピーバンドの演奏があったり、音楽は身近な存在でした。

中学高学年～高校生のときには洋楽に詳しくなりたいと思い、FMラジオにかじりつき、FM関連の雑誌を読み、カセットテープにFM放送を録音して何回も聴いておりました。エアチェックという言葉はもう用いられなくなりました。

やがてレコードに代わり、CDが普及しはじめました。大学に入ると、下宿の近くにレンタルCD店がありまして利用しておりました。

現在ではオンラインで曲を購入できるようになったり、さまざまな音楽鑑賞サービスが提供されるようになりました。私は有料の音楽聴き放題アプリを利用して音楽を楽しんでいます。クラシック、フュージョン、洋楽、歌謡曲、ジャズ、イーजीリスニングなどジャンルは幅広く、その時の気分にあった曲が見つかります。ただ、曲順で起承転結が表現されているレコード、CDも捨てがたいと思います。

生演奏は演奏者がプロでもアマチュアでも楽しめると思います。思い出に残っているのは2010年に札幌で開催されたShakatakのライブです。Shakatakはイギリスのフュージョンバンドで、“Night Birds”などの曲で知られています。Shakatakをご存じない方でも、テレビやラジオのBGMで耳にしているかもしれません。

Softlyとソフ友さん



江別医師会
野幌病院

野呂 三之

最近気になっているシンガーソングライターユニットをご紹介します。Softlyです。平成28年2月にメジャーデビューした19歳の2人（ボーカルMUTSUKI、ギターHARUKA）で、2年前に結成されています。苫小牧の高校2年の時に知人の紹介でTwitterで知り合い、カラオケボックスで意気投合、路上ライブ、YouTubeなどで活動し、NHK教育「スクールライブショー」のバンドバトルに応募し100バンド以上の中から選ばれて出場。これで注目され、平成27年4月に初ミニアルバム、9月セカンドアルバム発売。ラジオ（FMノースウェーブ毎週火曜21時）にもレギュラーで活躍しています。

2人の作る曲はアラ還の私が聞いても違和感なく、何かしら懐かしい感じのサウンドです。平成28年7月にはりボンナポリンのCM曲も出し、Join Alive出演、8月はペニーレーン24でワンマンライブ、9月にはメジャーファーストアルバム発表。10月からはUHBで「NUDEな音楽」という番組のナレーションも担当しています。

私がなぜこのようにファンになってしまったか？と考えますと、2月の健康スポーツ医研修のあとに、札幌パセオでのミニライブ&サイン会（握手）に参加してしまったことがかなり影響しているように思われます。生の演奏、歌、そしてサインと握手（スキンシップは大切です）。

Softlyの名前の由来については二人の雰囲気から、ふんわり、ふわふわ、という意味のこと、を辞書から引用したようです。YUIやaikoの影響はありますが、歌詞はなかなか癒しと前向きにしてくれる内容で共感できます。（いろいろなことが多い時代ではありますが）、若い人の音楽シーンに関心を持つきっかけになっています。

ライブ会場では、中高生に混じり私と同じくらいの年代のファンも来ているようです。ソフ友と呼ばれている始めからのファンは常に前にいて、場を盛り上げています。二人のMCも漫才のようで、楽しめますし、ファン年齢層が広いので和気あいあいな雰囲気です。

仕事で困った時など、気分が落ち込んでいる時、Softlyの曲はきっと心に響きます。皆様も機会がありましたらぜひ聴いてみてください。よろしくお願ひします（いわゆるアイドルではありませんのでご了承ください）。

今年が会員の皆様にとって良い一年でありますように。